

令和6年度 遠野市立遠野小学校 働き方改革アクションプラン

遠野市立遠野小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

現状

- ◆ 時間外在校等時間、月 45 時間以上の職員が 17 名、年間 360 時間以上の職員が 17 名いる。
- ◆ 学校行事や分掌業務等により、特定の月に業務が集中することがある。
- ◆ 超過勤務になる職員が固定化している。

目指す姿

- ◆ 仕事へのやりがいを感じながら互いに協力して、チーム意識をもって取り組む職場。
- ◆ 自他の健康保持に心配りできている職場。
- ◆ 職員同士のコミュニケーションを大切にしながら話しやすい雰囲気を保てる職場。

働き方改革の重点取組

取組① 時間外在校等時間および平日・休日持ち帰り残業の削減

- ◆ 超過勤務時間数を職員に知らせ、自身の働き方改善への意識を高める。
- ◆ 学期の中で多忙月を見極め、その月以外は退勤を早める呼びかけをし、勤務時間の平均化を図る。
- ◆ 時程の工夫により、放課後の時間の有効活用（会議、教材研究等）を図る

取組② チームとしての学校づくりの推進（やりがいを感じる職場・支え合う職場づくりの推進）

- ◆ 提出物や対外的活動等に向けて、進捗状況を確認し合い計画的に進める。（見通しを持たせて職務に当たらせる）
- ◆ 長時間勤務者との面談や相談日を設定し、健康保持に努める。
- ◆ 職員の業務内容や分掌業務について見直し、改善につなげる機会を確保する。

取組③ 業務改善の実施

- ◆ 会議前に担当者与管理職で論点整理を行い、短時間で集中した協議を行う。
- ◆ 会議におけるルールづくり（進行スケジュールをもつことなど）により軽重をつけた話し合いに努める。
- ◆ ICT を授業等で積極的に活用することにより、業務の効率化を図る。

具体的成果目標	関係する重点取組
目標① 時間外在校等時間が月 45 時間以上の人数を 9 名にする。	①
目標② 昨年度比較から 6 月（9 名）の 60 時間以上の超過勤務人数を 4 名にする。	①、②
目標③ 諸会議の実施時間を 1 時間以内にする。	①、③